

第 24 期 第 3 回 材料工学委員会 バイオマテリアル分科会

議事録

1. 日時 平成 31 年 2 月 1 日(金)15:00-17:00
2. 場所 日本学術会議 5 階 5-A (1) 会議室
3. 出席者 (敬称略) 片岡一則 委員長、埴 隆夫 副委員長、岸田晶夫 幹事、中野貴由 幹事、明石 満、宇尾基弘、春日敏宏、菊池明彦、丸山 厚、高原 淳 (skype 参加 : 15:00~16:20)、由井伸彦 (特任連携会員)、宮本直子 (学術会議)
出席委員 11 名
片岡委員長が司会を担当

欠席者 (敬称略) 岡野光夫、大矢根綾子、永井亜希子、新家光雄
欠席委員 4 名

4. 議題

- (1) 第 2 回バイオマテリアル分科会 (10 月 30 日開催) 議事録確認
- (2) 主催シンポジウム開催報告と次回以降の開催方針について
 - ・岸田幹事より資料に基づき、日本学術会議公開シンポジウム「イノベーションプラットフォームとしてのバイオマテリアル 2018」の実施報告がなされた。中身が濃く、好評であったとの説明。
- (3) 次回の日本学術会議公開シンポジウムの開催について
 - ・岸田幹事より第 41 回日本バイオマテリアル学会大会 (つくば : 長崎幸夫大会長) においても主催シンポジウムを引き続き実施することへの提案があり、開催することを決議した。今後、材料工学委員会へ答申する。
 - ・実施に伴い、長崎大会長に対し、学会 2 日目の朝から昼まで時間枠 (3 時間) とっていただくよう要請することとした。
 - ・次回シンポジウムの内容について議論した。
由井バイオマテリアル学会会長が司会を務める。
JST 荒岡様に新規プロジェクトに関する詳細説明、AMED の方に相互連携関係を深めるような内容、をお願いする。
連携委員からは宇尾委員と菊池委員が講演候補となった。
長崎大会長にも講演をお願いすることになった。
片岡委員長からつくば開催なので NIMS などの関連研究所からの講演者をお願いする可能性の提案があった。
 - ・2020 年は日米バイオマテリアルシンポがハワイで開催されることから、主催シンポジウムは日本学術会議講堂で単独で行うことが決定した。会費は無料で、必要経費はこれまで通りバイオマ

テリアル学会で負担することを由井委員（日本バイオマテリアル学会会長）にバイオマテリアル学会にて審議していただくこととした。

（４）マスタープラン提案について

- ・由井委員から、2019年2月1日付でマスタープラン公募が開始された旨の説明と配布資料に基づき前回提出のマスタープランの説明がなされた。前回のマスタープランに基づき、新規提案は、省庁との勉強会や2年間で進展した内容を記載して行いたいとの提案。評価の観点について前回から大きな変更はないとの説明。
- ・区分Ⅰの1)で前回のマスタープランを改定する形で提案。
- ・材料工学委員会のバックアップが必要。
- ・前回のヒアリングは、国際化の具体化、再生医療との差別化が問題になったので、それを適宜改定する必要性の指摘（片岡委員長・埴副委員長）。
- ・ヒアリング審査で残っているので前回提案の方向性が異なっているわけではない。図面には国際化を入れていく必要がある（片岡委員長）。
- ・実学は重要であるが、学術会議なので理念、学術を強調しなければならない。動物愛護等の問題、人材育成も入れた方が良くもしいない（明石委員）。
- ・バイオマテリアルは典型的な融合領域でどこにでもある学問領域ではないので、理解され易い分野である。キラーアプリケーションを明確化するべきであり、現状の完成した学問ではなく融合領域でしかできない新規分野ことを強調したほうが良い（片岡委員長）。
- ・バイオマテリアルは、再生医療に対しても重要な位置づけであることを強調すべき（埴副委員長）。
- ・東京医科歯科大学を拠点の中心にすることは問題なく、それ以外の大学がどういう果たすのかの役割分担を明確化するべき。学術をやることを強調すべきである。（片岡委員長）。
- ・SDGs に対しては強調すべきであり、様々な分野に関連することを階層化しながら書き込む必要がある（埴副委員長）。
- ・中野・菊池両委員と由井委員で案を作成し、メールにてバイオマテリアル分科マスタープランの最終案を確認することとなった。

（５）来年度の活動方針

- ・平成31年4月15日（月）15:00～17:00 日本学術会議

（６）その他

- ・次回発出する提言を継続して考える必要
- ・永井亜希子委員より所属機関異動に伴う分野変更によりバイオマテリアル分科会の委員の辞任の申し入れがあり、承認された。

第3回（今回）の議事録確認については、片岡委員長一任とすることが了承された。

文責 岸田晶夫・中野貴由